

ごみを減らしましょう ～ぎふ食べきり運動～

食品の加工・流通過程や消費段階で生じる調理くずや売れ残り、食べ残しなどを「食品廃棄物」といい、国内における廃棄量は年間2,842万トンにのぼります。この食品廃棄物のうち、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品のことを「食品ロス」といい、国内で年間646万トン発生していると推計されています。これは、1人1日あたりにすると約140グラムとなり、おおよそお茶碗1杯のご飯の量に相当します。

岐阜県では、食品廃棄物を削減するため今年度から「ぎふ食べきり運動」を推進し、宴会時の30.10(さんまる・いちまる)運動の取り組みなどを進めています。

◆30.10(さんまる・いちまる)運動とは

宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、

- ・乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう
- ・お開き10分前になったら、自分の席に戻って再度料理を楽しみましょう

と、主に幹事から呼びかけて、一人ひとりが「もったいない」という意識をもち、宴会を楽しみ、食品ロスを削減する取り組みです。

県では、食品廃棄物を削減するための「ぎふ食べきり運動」に協力いただく飲食店などの協力店・協力企業を募集しています。

【対象となる事業者】料理の食べ残しなどの削減に取り組む県内の飲食店や宿泊施設、企業など

【問合先】県廃棄物対策課企画調整係 ☎272-8214

事業系可燃ごみの有料化について

平成31年4月から事業系可燃ごみを有料化します。10kgまでごとに108円の負担をお願いします。

◆少量であっても、事業系ごみは家庭系ごみステーションに出すことはできません

【問合先】環境経済課 ☎388-1114

岐阜連携都市圏を知ろう!

③山県市



山県市は、平成15年4月1日に、旧山県郡(高富町、伊自良村、美山町)の3町村が合併して誕生しました。

山県市は、岐阜市の北側に隣接する位置にあり、JR岐阜駅から約9～34キロメートルの範囲に広がっています。

地勢は山地丘陵部が多く、枝状の山地と、長良川支流の武儀川、鳥羽川、伊自良川沿いの平たん地で構成されています。

山県市は、栗の王様と言われる「利平栗」の発祥の地です。収穫の秋には、当市最大のイベント「ふるさと栗まつり」が大桑地区で開催され、栗のつかみ取りが大人気です。

晩秋には、伊自良地域北部が発祥の地である「伊自良大実柿」を連ねた連柿が軒先に干され、柿色に染まる集落を見に多くの人が訪れます。この柿からつくる柿渋を、この地に移り住んだ地域おこし協力隊員が約半世紀ぶりに復活させました。

美山地域に工場が集積する「水栓バルブ」は、全国シェアの約4割を占めています。また、川もきれいでヤナやキャンプ場も人気です。ぜひお越しください。

市勢データ

(平成30年4月1日現在)

- 人口 27,503人
- 世帯数 10,822世帯
- 面積 221.98km²

山県市
観光親善大使
ナッチョルくん



緑豊かな伊自良湖

平成31年 1月14日(月・祝)	新春茶会とオカリナ・ピアノコンサート 新春らしい茶会のしつらえをお楽しみいただくとともに、オカリナ・ピアノの心安らぐ音色もご堪能ください。(文化の里古田紹欽記念館 [山県市洞田127-131])
平成31年 1月19日(土)	0歳からのポップス&クラシックコンサート 赤ちゃんから大人まで、みんなが楽しめるコンサートです。今年は、ミュージカル歌手とピアノ・フルートの共演です。(文化の里花咲きホール [山県市洞田127-135])
9月解禁日～ 春先にかけて	ワカサギ釣り 湖畔のラブレイクではワカサギ料理をはじめ、伊自良湖が恋人の聖地に認定されたことにちなんだピンクカレーが人気です。(伊自良湖 [山県市長滝])

【問合先】山県市役所企画財政課 ☎0581-22-6825 / 笠松町役場企画課 ☎388-1113